

第5回桜花城北セミナーを開催しました

2019年10月26日(土)午後、南極地域観測隊に参加された2名の先生をお招きし、「第5回 桜花城北セミナー」を大阪工業大学梅田キャンパス203室で開催しました。

竹中規訓先生(大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科 教授)からは、「凍結の化学と南極における窒素酸化物の化学」というタイトルでご講演頂きました。凍結による化学反応の促進機構や凍結による溶存物質の気散などの基礎検討から、南極実環境での検証実験に関する興味深い話をして頂きました。途中には南極の動画を見せていただき、特に、青みを帯びている南極の氷は非常に興味深いものでした。

続いて原圭一郎先生(福岡大学理学部地球圏科学科 助教)には、「南極大気中における海塩・ハロゲンサイクル」というタイトルでご講演頂きました。前半が南極で観測隊の生活、後半に研究の話をして頂きました。講演の途中で実際の南極の氷を融かすデモンストレーションを行いました。南極の氷には太古の空気が閉じ込められており、氷を融かすときに気泡が飛び出してきました。

本セミナーには、本学科の学生および教員、OB合わせて80名程度の参加があり、南極という極地で研究のスケールの壮大さを広く深く学ぶことが出来ました。



開催ポスター



アイスコア(南極の氷)について聴講する参加者



竹中先生とディスカッション



南極探査工程を説明する原先生